

新型コロナウイルス感染症蔓延対策

東京都部会・神奈川県部会 スタッフ注意事項

【スタッフ】

- スタッフの数は重複することなく最小限で対応する
※受付、ステージは2名でも可
- マスクは絶対着用すること
- 三日前から当日、具合の悪いスタッフは出席しない
※体調不良者は必ず申告して処遇を仰ぐ
- 検温で37.5℃以上のスタッフは参加を許可しない
- 消毒、換気、三密に対応する
- 大きな声で会話はしない
※必要に応じて注意を喚起する
- 昼食を持参してごみを持ち帰る
※審査員、開催施設職員の昼食のみ JBA で用意をする
- 人と接する際はフェイスシールドをする
- 会場提供者の立場に立ち、現在の状況下で外部に貸し出しているリスクを考えること

【受付】

- 施設入口のチェックと控室近辺での参加者受付の二つに分ける
- 施設に入る前に、氏名の確認、健康チェック、検温、消毒をさせる
※健康チェック、消毒をしない者は施設に入れない
※健康状態の良くない人、検温で37.5℃以上は施設の入場、出場はできない
※微熱に相当する人は更に2週間の健康状態を確認させて、場合によっては帰宅させる
- 審査員、スタッフ、出場者のみ施設に入場できる
※引率者の入場はできない
※どんな理由であっても、出場者以外の入場を許可しない
- 集合の25分前より前は施設に入れない
- アルコールに弱い方は、My 消毒液を使用するか、せっけんで手洗いをさせる

【エレベーター】

- エレベーター内を4名程度の利用にして、三密を防ぐ
- 1～3階程度の移動は階段を利用させる
- 飲食禁止とする
 - ※水分補給のみ許可する

【会場】

- 無観客開催であることを頭に入れる
- 会場に入る前に消毒させる
- 席を利用した後の座席はスタッフが消毒をする
- 休憩は換気を兼ねているので、休憩中の会場内の立ち入りを禁止する
- スタッフ以外の入り口の扉は触らせない

【控室】

- 部屋にはいるたびに消毒をさせる
- 出場者は集合の20分前から終演の20分後まで使用できる
 - ※特別なことがない限り、出場者のみの使用とする
- 座席を離れる際、使用した座席、テーブルをスタッフが消毒すること
- 部屋の換気を確認すること
- 控室での音出しはできない
- 飲食はできないが水分の補給のみ許可する
- ごみは持ち帰っていただく
- 会話を厳禁とする

【チューニング室】

- 出場者が部屋に入る前に消毒をさせる
- ピアノを使用するものは、使用する1分前までに消毒を終わらせておく
 - ※ピアノの塗装面にアルコールが付着するとひび割れや破損が生じるので注意すること
 - ※アルコール消毒を直前にしてアルコールが乾かない状態で演奏したものは弁償の対象とする
- 出場者が部屋をでるときに、ピアノとピアノに関するもの以外の譜面台、椅子、ドアノブをスタッフが消毒すること
- 出場するもの以外は入れない
- マスクは部屋の中のみ外すことができる ※その時の保管に注意
- 使用していないときはドアを開けて換気する

【ステージ】

- 出場者のマスクは舞台裏に入ってから演奏終了まで外すことを許可する
 - ※ 打楽器、コントラバス、ピアノ伴奏者は任意とする
- スタッフはフェイスシールドを着用する
- スタッフはセッティングの前後に譜面台、椅子、床を消毒する
- 管楽器のツバは、ビニール袋を敷き、その上にペーパーを置き、そこに捨てさせ、使用後はビニール袋の中にペーパーを入れ封をして処分する
- パーティションは触ってはいけない
 - ※ 休憩時間に必ず消毒をする
 - ※ 万一触った場合は直ちに消毒をする
- パーティション、ピアノ位置については保健所の指導により移動することはできない

【記録】

- 無観客開催のため、主催者記録用ビデオにチャプターをつけ確実に録画する
 - ※ 出場者に USB にビデオ・ファイルをコピーして、講評用紙、表彰状と共に後日郵送する
- 業者を入れないため、出場者 1 名につき 2 枚のスナップを撮影
 - ※ 出場者に掲載許可を受付で得る
 - ※ 写真は Facebook に出場者 1 枚ずつを掲載予定とする

【音源審査】

- 三密を避けるため、音源審査を責任者、担当者の 10 名以下で開催する

【反省会】

- 新型コロナウイルス感染症蔓延の間は反省会、懇親会、会食を行わない